



# ASJA News Letter

Vol.22 March, 2012



アスジャ・インターナショナル事務局 ASJA (Asia Japan Alumni) International  
〒169-0074 新宿区北新宿3-22-7 東京日本語教育センター内  
3-22-7, Kita-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 169-0074 JAPAN  
TEL: 03-5338-1285 FAX: 03-5338-1286  
URL: <http://www.asja.gr.jp> E-Mail: [info@asja.gr.jp](mailto:info@asja.gr.jp)

こくさいりかいきょういく

## 国際理解教育

へいせい ねん がつ か か

【平成23年12月20日(火)】

アスジャ学生は、国際理解教育の一環として、毎年、新宿区立東戸山小学校において国際交流を行います。今年ことしは小学3年生しょうがくの27名と、3時限と4時限にかけて交流こうりゅうを行ないました。まず3時限目は、アスジャの学生がくせいが自己紹介じこしょうかいをした後、簡単な挨拶あいさつ（おはよう、お元気ですか、ありがとう、さようなら）をそれぞれの母国語ぼこくごで紹介しょうかいしました。続いて、小学生しょうがくせいが自分達の特技とくぎであるそろばんやマジック、なわとびなどを学生達に披露ひろうしてくれました。4時限目には、折り紙やメンコ、あや取りなどの日本の伝統的な遊びあそびを一緒に楽しみ、最後に、小学生しょうがくせい全員でリコーダーの演奏えんそう及び歌を披露ひろうしてくれました。小学校訪問を通して、学生が自分たちの手で国の文化ぶんかを紹介しょうかいしたことにより、日本の小学生しょうがくせいにASEANの国々に興味きょうみを持つきっかけを作ることができたと思われます。アスジャ学生がくせいにとっても日本の小学生しょうがくせいに接する貴重な機会ききかいとなり、また、日本の小学校では異文化いぶんかを学ぶ機会まなきかいを提供ていきょうしている国際理解教育こくさいりかいきょういくが行われていることにも興味きょうみを示していました。



## 学生の感想



【マレーシア女子学生】

私は、新宿にある東戸山小学校へ半日、訪問しました。一番印象に残っているのは校長先生が、私の知っている普通の小学校の校長先生と違うことでした。東戸山小学校の校長先生は、普通の校長先生より心が広いと思います。校長先生の部屋はおもちゃや手作りの物などを飾っています。そして、子供達はいつでも校長先生のお部屋に遊びに行くことができ、校長先生も、子供達がいつ来ても歓迎しています。とても良いことだと思います。普通の校長先生はこういう方法は取らないでしょう。少なくとも私の国ではこのような小学校の校長先生は見たことが無いです。その後、私は教室に行きました。最初、子供達に自分の国の言語での挨拶を教えました。そして、子供達と一緒に日本の伝統的なゲームを遊びました。実は、マレーシアにも似ているゲームがあり、とても楽しかったです。次は、子供達のパフォーマンスでした。皆、才能を持っているし、彼らのパフォーマンスは完璧だと思い、感動しました。特に、「未来の賛歌」と言う歌を聞いた時、私は本当に感動しました。その歌を聞いている際に私はその歌詞が少し分かり、良い曲だと思いました。その時、彼らに「アンコール」と叫びたかったです。彼らの歌声は天使のようでした。

### 【フィリピン女子学生】

今回の国際理解教育は二回目です。去年と同様に、今年も楽しかったですが、今年も小学生達がとても元気で明るかったです。小学生たちは、マジックや歌、スポーツなど一番得意な出し物をしてくれました。小学校で、マジックやレコーダーなどの楽器を学ぶことができるのは、若いときに、自分の可能性が広がるので、大事なことだと思います。このような方法を取れば、将来やりたいことは若いときに分かってくるかもしれません。これで私の最後の国際理解教育活動になりましたが、子供達と交流するのは良い経験で、大切な思い出になりました。

### 【インドネシア男子学生】

At the Elementary school we interacted with children between 8-9 years old. We introduced some simple greetings in our language and they performed their excellencies in games and music. They played a very nice song using recorders, about their dreams and hopes for the future. It was very touching, and they played it skillfully. They also taught us about Japanese traditional games and how to play it, which apparently harder than I thought because I lost to them all the time.

### 【ベトナム男子学生】

This was extremely interesting. We taught the kids some simple sentences in our languages and they showed us some interesting performance. Through this visit, I learned about how Japanese elementary school kids study and play. It is much more joyful than Vietnamese elementary schools. I really wish I could bring the changes to Vietnamese elementary schools someday in the future.

こくさいきかんにほん

きょうりよくじぎょう

## 国際機関日本アセアンセンターとの協力事業「ASEAN留学生による各国プレゼンテーション」発表

へいせい ねん がつ か ど  
【平成24年1月14日(土)】



こくさいきかんにほん

しゅさい

しんねん いわ

きかん

国際機関日本アセアンセンター主催のイベント「ASEAN新年お祝いWEEK」の期間

ちゆう かいさい

りゆうがくせい

かっこくしやうかい

中に開催された「ASEAN留学生による各国紹介プレゼンテーション」に、タイの

アスジャ奨学生2名が参加し、自国の最大の伝統的な行事であるソンクラーン祭

りについて発表しました。奨学生は、華やかな民族衣装を身にまとい、水かけ祭

りとも知られているソンクラーン祭りの由来や特徴、行事の内容についてパワー

ポイントを用いて紹介しました。参加者は30名近くにもものぼり、自国のお祭りや

行事に焦点を当てた発表は、参加者の興味をひいたものと思われます。プレゼン

終了後には、日本の大学生との交流会「ASEAN学生サロン」にも出席しました。

また交流会には50名以上が参加し、母国の文化紹介や学校の勉強などで盛り上

がり、交流を深めることができました。



## 学生の感想



### 【タイ女子学生】

タイのお正月は「ソンクラーン（水遊び祭り）」と呼ばれ、4月に行なわれます。このソンクラーンについてはもうすでに外国人に知られ、この行事に参加するためにタイに来る観光客も少なくないです。しかし本当のソンクラーンの意味合いや背景などはあまり知られていないだろうと思って今回の発表をきっかけにして紹介させていただきました。同じ東南アジアの国々の様々なお正月のお祝いの仕方、例えば、タイの近隣の国であるミャンマーには似ている「水遊び」という行事があるけど、微妙に違うところがあることなどタイ人である私も楽しく聞かさせていただきました。最後の交流会も色々な東南アジアの料理を味わうことができ、一緒に日本のゲームをしたり、食事をしながら話したり、本当に時間があっという間に過ぎると感じました。我々の国に興味を持ってくれた日本人たちに出会えてすごく嬉しく思うし、このような機会を提供していただいた日本アセアンセンターの皆様へ心から感謝しております。

## 【タイ男子学生】

ソンクラーンは、「水祭り」としても知られていますが、どちらかという、観光的な面がプロモートされていますから、外国人は本当のタイのソンクラーンの目的を誤解する恐れがあります。私はパン先輩と一緒にソンクラーンの由来をはじめ、その意味、本当の目的などについて説明し、二人兄弟の会話を想定して発表しました。発表後、交流会があり、日本の方はソンクラーンに興味を持っているようで、私にソンクラーン祭りについて質問しました。私は、タイの面白い観光地を紹介してあげました。みんなが誤解する恐れがある点について発表することは、お互いの理解の促進に役立つと思います。次の発表は今回のような目的をもってしようと思っています。

しみんだいがく きょうりよくじぎょう かがいりゅうがくせい こうりゅう こうざさんか  
きらめき市民大学との協力事業 「海外留学生との交流」講座参加  
へいせい ねん がつ たち すい  
【平成24年2月1日(水)】

さいたまけんひがしまつやまし しょうがいがくしゅう ば せつりつ しみんだいがく がくせい めい こうりゅう おこな しょうがくせい  
埼玉県東松山市の生涯学習の場として設立されたきらめき市民大学の学生26名と交流を行いました。奨学生  
めい さんか ぼこく しょくぶんか にちじょうせいかつ しゅくさいじつ まつ しゅくじつ もち はつびょう  
7名が参加、母国の食文化、日常生活、祝祭日、お祭り、祝日などのテーマをパワーポイントを用いて発表しまし  
た。その後、きらめき市民大学の学生が3つのグループに別れ、奨学生が順番に回り、質問に答えました。きらめき  
しみんだいがく こうれいしや かたがた ちゅうしん けんこう ふくし かんきょう こくさいぶんか まな もくてき しょうがくせい  
市民大学は、高齢者の方々を中心に、健康・福祉、環境、国際文化などを学ぶことを目的としており、奨学生は、  
ぼこく み しょうがいがくしゅう ば きょうみ こうれい ねっしん べんきょう とり く しせい いんしょう のこ  
母国では見られない生涯学習の場に興味を持ち、また、高齢になられても熱心に勉強に取り組む姿勢が印象に残っ  
たようです。Q&Aセッションは、短い時間にもかかわらず、活発な意見交換が行われ、東南アジアを知ってもら  
きつけを作ることができたと思われま。



## 学生のご感想

### 【インドネシア男子学生】

きらめき市民大学では高齢者が学ぶだけではなくて、学んだものを地域の皆さんに広める役割もあって、町全体を輝かせ、活気づかせることを目指していると思います。健康・福祉学部、環境学部、国際・文化学部、郷土学部の4学部がありますので、幅広く様々な分野を学ぶことができると思います。当日、私はインドネシアの祝祭日について発表しました。インドネシアの祝祭日は宗教と関係が深いということを理解してもらえたと思います。Q&Aのセッションでは、インドネシアは多宗教の国なので、違う宗教の間で戦争したことがあるかと聞かれました。確かにインドネシアは多宗教の国ですが、宗教的な国ではありません。つまり政府はできるだけ、多宗教の平和を守って、維持しています。もちろん小さい問題が起こったことがありますが、すぐに乗り越えています。このように答えました。きらめき市民大学のカリキュラムを見ると勉強の時間が長いです。高齢者の方々なので、長い時間、勉強するなんて大変だと思います。しかし高齢者の方々と交流したとき、予想以上に勉強のやる気が非常に高く、熱心でいろいろなことを知りたいという熱意を感じました。私も、きらめき市民大学の学生達のやる気に負けずに、自分も勉強をがんばりたいと思いました。

### 【シンガポール男子学生】

きらめき市民大学で高齢者の方々の学生に、シンガポールの豊かな食事文化を発表しました。学生の方々はとても真面目で、メモを取る人もたくさんいて、熱心に聞いていました。Q&Aのセッションでは、学生からアジアについての質問がたくさんありました。例えば、文化や毎日の生活、旅行の質問が多かったです。特に、アスジャの留学生の日本の生活と日本語の勉強について、興味があったようです。きらめき市民大学は、高齢者の方々のためにたくさんカリキュラムがあります。例えば、歴史、語学、芸術、スポーツなどです。やはり、人生をより有意義なものにするために、勉強をやめないことが重要だと思います。私の国にはそのような高齢者のための大学がありません。シンガポールで、高齢者の人口が増加するので、生活の質の向上のためにも、きらめき市民大学のような教育の場がほしいと思います。

## 【カンボジア女子学生】

きらめき市民大学は高齢者の方々のためにたくさんのカリキュラムがあります。このような市が運営している大学は、まちづくりや地域活性化のために、とてもいい施設だと思えます。カリキュラムを見て、あらゆることが勉強でき、どの科目でも、健康、スポーツ、経済社会、芸能や文化交流など、人生の楽しみ方を含めて、生活の中に欠かせないものだと思います。きらめき市民大学では、私は、カンボジア人はどのような日常生活を送っているのかについて発表しました。カンボジアの一般情報、町での楽しみ方、一般の生活様式についてパワーポイントを通して紹介しました。発表の後のQ&Aのセッションでは、日本語、例えば、漢字、カタカナ、ひらがなの中でどれが難しいか、日本にどのぐらいいるか、あとはカンボジアの名物の焼き卵はどうやって作られるのかについて聞かれました。高齢者の方々は私たちの国や留学生の日本での生活に興味を持ってくれ、たくさんの質問をしていただいで嬉しかったです。

## 【ベトナム男子学生】

きらめき市民大学の学生たちに会った後、日本社会とベトナム社会はいろいろ違う点があると思えました。大きく違う点は、日本の高齢者たちは学習することが大好きだということです。私の国の高齢者たちはちょっと違います。今のベトナムの高齢者たちは、孫と遊んだり、旅行したりします。しかし、きらめき市民大学の学生たちは大学へ来て、一生懸命勉強していますので、驚きました。その勉強熱心な姿に感動しました。私の発表のテーマはベトナムのお正月でした。皆さんからベトナムのお正月についてたくさんいい質問をもらいました。例えば、「今ではベトナム若い人たちはバンチュンやバンゼーを作られますか」とか「ベトナムのダオー花と日本の桜は似ていますか」などです。私は、「バンチュンやバンゼーを作ることは昔からベトナムの伝統的な文化ですが、今では若い人たちは作ることができませんので、残念だと思います」と、答えました。また、ベトナムのダオーの色はピンクや赤い花が咲きますが、日本の桜の色は白い色があるし、ピンクや濃いピンク色もありますと答えました。

だい かい けんしゅうがっしゅく

# 第12回アスジャ研修合宿

へいせい ねん がつ にち きん がつ にち にち

【平成24年2月17日(金)～2月19日(日)】

2月17日(金)から19日(日)までの2泊3日の日程で、第12回アスジャ・インターナショナル研修合宿を国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町)で行いました。参加者数は、24名(アスジャ奨学生16名、アスジャ国費留学生5名、事務総長、アスジャ・スタッフ2名)でした。

【2月17日】



午前中は、国立女性教育会館による男女共同参画社会の現状についての講義を受講しました。他国の統計データを用いて、日本における男女共同参画社会の現状について学びました。

午後は、狭山市にある製菓会社ロッテの狭山工場を見学しました。ロッテ狭山工場は、1969年にキャンディ工場としてスタートし、76年にビスケット専用の第二工場、90年に糖衣ガム主体の第三工場が完成しました。狭山工場では、国内のほぼ全てのキシリトールガムの製造・出荷を行っており、その梱包作業の過程を見学することができました。作業員が手作業で念入りに不良品をチェックしている姿に学生達は、日本の製造業の徹底した管理体制に感銘を受けていました。ロッテ企業理念の一つである「Highest Quality」の実践現場を見学することができ、刺激を受けたようでした。虫菌の原因にならない天然素材甘味料であるキシリトールを使用した実験にも興味を示しており、また、健康が気になる人を対象にした「特定保健用食品」として認定されたキシリトールガムについての質問も多くなされました。更にコアラのマーチの製作秘話や絵柄にまつわるエピソード、チョコレートを注入する際のクッキーの仕組みについての説明を熱心に聞いていました。

ゆうがた がくせい くに わ じこく りょうり つく  
 夕方からは、学生が国ごとに分かれて、自国の料理を作り、その  
 ごおこな こんしんかい しょくぶんか しょうかい こんしんかい  
 後行われた懇親会でASEANの食文化を紹介しました。懇親会には  
 こくりつじよせいきょういくかいかん やまねり じ しょくいん  
 国立女性教育会館の山根理事や職員、ボランティアグループの  
 かたがた さんか いただ ころりゆう ふか  
 方々のご参加も頂き、交流を深めることができました。なお、  
 けんしゅうがっしゅく ぜんじつ がくせいみずか ざいりょう かいだ おこな りょうりづく  
 研修合宿の前日に、学生自ら材料の買出しを行い、料理作り  
 あとかたづ ぜんいん きょうりよく あ しゅうりょう  
 や後片付けも全員が協力し合い、スムーズに終了することが  
 がくせい  
 できました。学生たちは自分の国のチームワークはもちろん、  
 けんしゅうがっしゅく とお じこく こ よこ よこ さら ふか  
 研修合宿を通して自国を超えた、横と横のつながりを更に深め  
 ることができました。



(写真左上から時計回りに)懇親会の料理作り、司会進行はカンボジア人留学生、各国の料理。

がつ にち  
**【2月18日】**

ごぜん こくりつじよせいきょういくかいかん こうどう わだい こ たいげん さいたまけんらんざんまち きよてん かつどう こまおうだいこ  
 午前は、国立女性教育会館の講堂で和太鼓を体験しました。埼玉県嵐山町を拠点として活動する「駒王太鼓  
 あいこうかい しまだきよしせんせい しどう いただ さいしょ きよく さいご きせき ふた  
 愛好会」の嶋田 浄 先生にご指導を頂きました。最初にオリジナル曲である「翼〜つばさ」、最後に「奇跡」の二  
 えんもく ひろういただ わだいこ ちからづよ いっすん くる いき あ えんそう がくせいたち ひじょう かんどう  
 つの演目を披露頂き、和太鼓の力強さ、一寸の狂いもない息の合った演奏に学生達は非常に感動していました。  
 しまだせんせい きそてき まな れんしゅう あと くにべつ わ れんしゅう せいか ひろう ようす ほか がくせい  
 嶋田先生に基礎的なリズムを学び、練習した後、国別に分かれ、練習の成果を披露しました。その様子を他の学生  
 おうえん おお も あ おと りいじょう にんずう あ むずか  
 が応援するなどして大いに盛り上がりました。シンプルな音でも2人以上の人数で合わせることは難しいようでし  
 みないっしゅうけんめいたた なか はじ おも せんせい い ほじょうたつ がくせい さいご  
 たが皆一生懸命叩いており、中には初めてとは思えないと先生に言われる程上達している学生がいました。最後に  
 せんせい はじ こんかいわだいこ ひろう しどう こまおうだいこあいこうかい みなさま たい がくせいひとりひとり かんしゃ い  
 先生を始め、今回和太鼓を披露、ご指導して下さった「駒王太鼓愛好会」の皆様に対し、学生一人一人が感謝の意  
 こんかい わだいこたいげん かんそう の わだいこ たた せいしん しんたい ひょうげん じぶん ちから かのうせい おと とお  
 と今回の和太鼓体験の感想を述べました。「和太鼓を叩くことは精神を身体で表現し、自分の力の可能性が音を通  
 ひろ けいけん ふか いんしょう のこ がくせい おお にほん でんとうぶんか きちよう たいこえんそう  
 して広げられる」など、この経験が深く印象に残った学生が多くいました。日本の伝統文化である貴重な太鼓演奏  
 たいげん がくせい わす たいげん  
 体験は学生にとって忘れられない体験になったようです。

ご こ どうかいかん しつ しょうたいげん しょうどう きそてき ちしき まな かんじ たてせん  
 午後は同会館のミーティング室で書道体験をしました。まず、書道についての基礎的な知識を学び、漢字の縦線、  
 よこせん れんしゅう あと せかいへいわ こころ たいよう せんせい か てほん まね れんしゅう  
 横線を練習した後、「ふれあい」、「世界平和」、「心に太陽」などの先生が書いたお手本を真似て練習しまし  
 せいしょ かみ か ことば じゆう か さいご ことば えら りゆう ひとりひとり ほっぴょう  
 た。清書の紙には、それぞれが書きたい言葉を自由に書き、最後にその言葉を選んだ理由を一人一人が発表しまし  
 しょうどう つう せいしん どういつ か むずか ことば たいせつ ふか まな ご こ ころりゆう  
 た。書道を通じて、精神を統一しながら書くことの難しさ、言葉の大切さ、深さを学んだようです。午後の交流  
 かつどう らいねんど がくせいじしゅじぎょう はな あ おこな めい しょうがくせい  
 活動では、来年度の学生自主事業について話し合いを行いました。まずリーダー3名(アスジャ奨学生：シンガ  
 しょうがくせい しょうがくせい こくひりゅうがくせい せんしゅつ まつ けいしき  
 ポール女子学生、アスジャ奨学生：タイ男子学生、アスジャ国費留学生：タイ女子学生)が選出され、お祭り形式  
 ぶんかしょうかい おこな けってい  
 の文化紹介を行うことやテーマが決定されました。



(写真左から順に)先生に習って、和太鼓をしている様子、書道の練習、最後に清書を持って先生を囲んで記念撮影。

がつ にち  
**【2月19日】**

ごぜん まいとしようひょう じっし ことば つか まじ しぜん  
 午前は毎年好評のレクリエーションを実施しました。言葉を使えないゲームではジェスチャーを交えながら自然  
 きょうりよく あ て つな た あ とき いけん だ あい せいこう みちび がんば  
 に協力し合い、また手を繋ぎ立ち上がるゲームの時は、意見を出し合い成功に導くように頑張っていました。  
 さいご もぞうし じぶん てがた なまえ か いちばんたいせつ きょうまな  
 最後に、模造紙に自分の手形と名前を書き、チームワークで一番大切なこと、今日学んだこと



ひとことか し そんちよう おも ころを一言書いて締めくくりました。「尊重」、「思いやりの心」などの言葉を見て、異なる文化や言葉を持つ者同士がお互いに協力する大切さを学ぶ良い機会となりました。

午後は、前日に引き続き、来年度行われる学生自主事業について話し合いが行われました。三人のリーダーを中心に具体的な日程、場所、各国の発表内容について活発な議論が行われました。また、国のリーダーも決め、PR&レセプション、ホール&レジスティックス、司会、資料作成、経理の5チームに分かれ、今後の計画について話し合いが持たれました。二日間かけて、少しずつ目標達成のための基盤ができていき有意義な話し合いの時間がとれました。

(写真上中段左右)レクリエーションをしている様子。(写真下段左右)学生自主事業について熱心に話し合っている様子。

## 🌸 学生の感想 🌸

### 【インドネシア男子学生】

まず、ロッテ狭山工場へ見学に行き、ガムの作り方を教えてもらった。普通のガムは、普通の砂糖で作られているが、ロッテのキシリトールガムは砂糖でなく、甘みの原料はキシリトールから作られている。健康には砂糖よりキシリトールの方が優しいと言われている。健康は大事なもので、食べ物は体に優しい材料を使うことは大切なことだ。また、和太鼓や書道も体験することができた。私は日本に来た時、過去の研修合宿の写真の中で先輩たちが和太鼓体験を楽しそうにしているのを見た。それがきっかけとなり、私は和太鼓に関心を持ち、もし機会があれば、和太鼓を体験してみたいと思った。今回の合宿で実際に体験する機会があって、とても嬉しかった。昔、手でたたくことから作られた和太鼓の中には神様が宿っていると先生が説明してくれた。だから、現代では皆楽しく和太鼓をしているが、昔の人にとって和太鼓は神聖なものだと考えられていたようだ。先生から和太鼓のたたき方を教えていただき、私は和太鼓を真面目に楽しくできた。難しかったが、その時先生から基礎的なことを学んだので今後はそれ以上のレベルも学びたい。

### 【タイ女子学生】

私は国費留学生以外の学生と出会えたのは今回の研修合宿が初めてでした。来年度の学生自主事業のリーダーに選ばれたことによりかなりショックを受けました。うまくいくかどうか色々心配していますが、この機会を切っ掛けに皆と仲良くしたいと思います。アスジャが企画してくれた研修合宿を非常に楽しんで過ごしました。まず、ASEAN料理作りですが、活動に参加する前に、ミャンマーやカンボジア、マレーシアなどのタイに囲まれている国々のおふくろの味はいったいどのようなものなのか全然知りませんでした。試食してみたら意外と自分の国の料理と似ているようなものがありました。それぞれの特徴の味が少し違うと私は感じました。

### 【マレーシア女子学生】

母国のマレーシアには伝統的な太鼓が沢山あるが、体験することはなかなか出来なかった。今回和太鼓の体験を通して、太鼓の伝達手段の体験ができた。和太鼓を叩くことは精神を身体で表現し、自分の力の可能性は音を通して、広げられるのだと思った。日本へ来てから、日本語学校の書道クラブに入り、初めて日本書道を学んだ。今回、各国の学生たちは意義深い言葉を書道で伝えてくれた。書道を通して、自分の内面と向き合うことで自己表現ができることを感じた。文字文化を芸術として極める書道は無敵な力があると思う。

2年毎に行われる学生自主事業は今年も開催する予定だ。会議の最初の段階では、皆が事業について戸惑っていたが、遠慮なく多くの意見を出し合い、事業の内容やその方向性がだんだん決まってきた。二日間話し合いができた。これから皆の力を合わせ、今年度の事業を絶対成功させたいと思う。

### 【フィリピン女子学生】

初日に、ロッテ狭山工場に行きました。私はチョコレートやコアラのマーチというようなお菓子が大好きなので、この訪問を楽しみにしていました。そこで、キシリトールの梱包を実際に見られ、すごいと思いました。その夜、チキンマカロニサラダを作りました。皆から「美味しかった」と言われて、良かったです。二日目には、和太鼓と書道を体験できました。この前に何回も和太鼓を見たことがあるのですが、今回体験できてとても良かったです。フィリピンではいろんな伝統的な楽器があるのですが、和太鼓のような大きい太鼓はないと思います。午後になって、リラックスできる書道をしました。正直に言うと、私の手書きはとても悪いと思います。でも書道の時間では楽しく過ごせたと感じます。

### 【マレーシア女子学生】

今年の研修合宿の初日はロッテ狭山工場に行ってきた。狭山工場では、コアラのマーチ、ビスケット、チョコレート、アイスとガムなどを作っている。今回は、キシリトールガム製造プロセスを見学させていただいた。キシリトールは砂糖のカロリーより75%低く、虫歯にならない甘味料ということを知った。歯の健康を増進することができる。

次の日は、日本の伝統的な和太鼓と書道を体験した。和太鼓の演奏は見ることもできるかもしれないが、なかなか体験する機会はないと思う。初めての和太鼓体験は、実際にやってみると力が結構必要でそれは簡単なことではない。しかし、和太鼓は面白くてこの体験はとても貴重な経験になり機会があればまた挑戦したいと思う。その後、日本の伝統文化である書道を学び単に技能や能力を身に付けるだけではなくその学ぶ課程で、心の成長をはかっていくことが大切である。書道の先生はとても面白くて親切で、先生からは書道の筆をいただいた。

### 【シンガポール女子学生】

私は工場見学が初めではないが、前回と同様にロッテ狭山工場見学も感銘した。なぜかという、一個ずつ手作業で商品の包装をチェックするとは思わなかったからだ。また、キシリトールガムが歯にいいというのは知らなかった。さらに、日本ならではの人物商品化の強さを、コアラのマーチを通じて感じた。他の国の場合、デザインが8つぐらいあればもう十分だが、コアラのマーチは400以上のデザインがあり、このこだわりには感動した。一番印象に残ったのは、やはり投票でいきなり来年度のアスジャ学生自主事業のリーダーになったということだ。イベントを計画した経験がないし、前の夜も寝られなかったため、頭の中が真っ白になった。話し合いの時、難航したが、幸いな事に先輩たちが助けてくれたのでとても感動した。せっかく私とオーさん、ファイちゃんが選ばれたため、私達は頑張りたいと思う。

### 【ミャンマー男子学生】

今回の研修合宿に参加する前にお世話になる国立女性教育会館の情報を調べて見ました。その際、提供している“Gender Equality Program”を読んだらとても興味深かったです。2月17日にはアスジャのおかげで国立女性教育会館の“Gender Equality”の講義を受けることができました。2日目に和太鼓体験をしましたが、和太鼓は日本の伝統的な楽器の中で、私が一番好きな楽器です。和太鼓演奏は私の通っている大学で見る機会がたまにありますが、体験する機会には恵まれませんでした。実際に和太鼓を叩いた時、力強い気持ちになりました。午後には書道を先生から教えてもらいました。最後の清書では、私が一番好きな言葉である「世界平和」と書きました。書く時も平和な気持ちを心に抱きながら書きました。とても良い経験でした。

### 【カンボジア男子学生】

私は、今回の研修合宿での活動に感謝している。和太鼓演奏を体験して、素晴らしいと感じた。私はいつも大学で本だけ読んでいたので、今回和太鼓演奏で体を動かせたのでとても楽しかった。私は日本人の伝統文化を守ることを奨励したい。スポーツ活動もとても楽しい時間だった。東南アジアの友人達とスポーツをするのは良い時間だった。スポーツは健康と連帯のシンボルである。我々は勉強で普段非常に忙しいが、健康でいる必要がある。スポーツは私たちがリラックスして楽しむことができる。何人かの学生は遠い所住んでいるので、スポーツの時間を通していろいろなことを話すことができた。

### 【カンボジア男子学生】

This is the first-away-from-Tokyo-study-trip with ASJA family. 18<sup>th</sup> February morning, I was lead to the big hall of the Japanese traditional Drum Performance where various Drum performances were performed. I used to see such performance at Cambodian-Japan Corporation Center (CJCC) in Cambodia. But at that time, the performance team consisted of only 3 people. Here the performance was bigger and with more diversified types of drums. What make this time more special was that I and other ASJA family were given a chance to do real practice with Wadaiko with the aids(teaching) and guidance from the Sensei. It is easy to hit the drum and make sound, but it is not easy to get the predefined sound or nice sound. I think that requires born-talent plus instant-training.

Last day, We got two Japanese Sports trainers taught us a few types of sports that could help make our body stronger and help release stress. The trainers tried to make us realize that the main aim of sports is not only for physical health, but also mental health. More interestingly, the introduced sports games required all people in the team to consolidate within the group to win the game. Without consolidation, that particular team would lose, and game would never over. The underlying meaning, I have learnt from that is that we, people, are not island. Regardless how strong or weak you are, we need friends and colleagues in order to reach our goal.

It is an unforgettable memory to join the study trip in NVEC. I have learnt lots of things ranging from the very traditional Japanese Performance to the world-wide-Japanese Sayama LOTTE factory. We also have a chance to show Cambodian Culture to the Japanese People. Last, but not least, I would like to thank ASJA for their hard working in making this study trip happen.

## 【ミャンマー女子学生】

研修合宿で一番面白いプログラムは東南アジアの料理を作って皆様と一緒に食べることです。私の趣味は料理をすることであり、母国の料理を作って皆が楽しみながら食べるのはとても嬉しいことです。東南アジアの他の国の味も知ることができて、料理を作ることが大好きな私にとってとても楽しいことです。また、日本の伝統である和太鼓もとても面白かったです。ミャンマーにも太鼓がありますが、ミャンマーでは一回も体験してなかったので、ミャンマー人だけ、ミャンマーの伝統の一つを勉強しなかったのはとても申し訳ないと思いました。今後、ミャンマーの伝統の太鼓を勉強しようという思いがあり、今回の研修合宿の一つの勉強になった良い点です。

## 【カンボジア女子学生】

今回は私にとって最後の研修合宿でした。ロッテはお菓子やガム製造などをはじめ、ホテルとショッピングモールなどもやっており、とても素晴らしい企業だと思います。私たちが見学したのはロッテ狭山工場のガム作りのセクションでした。そこで、キシリトールガムの特徴、キシリトールと砂糖の違いを社員の方の説明や実験を通して分かるようになりました。ロッテの工場は社員より機械が多いと思いました。そして、一日3回のシフトで24時間営業しているとスタッフが教えてくれました。細かい技術での生産、生産量、また品質のコントロールの厳しさを見てとても感心し、日本人を尊敬しています。次に、書道を体験しました。書道を通じて日本語の文字の正しい書き方を学びました。また、よい意味を持つ新しい言葉を知り、とても勉強になりました。「心に太陽」を選んで皆に発表しました。なぜこの言葉を選んだかという、人は辛い時や落ち込む時など、太陽が必要だと思うのです。とても良い経験でした。そして、今回も短期間でしたが、リクリエーションに参加しました。あまり力は必要としなかったです。そして、最後の挑戦も失敗しました。ですが、アスジャの全員で協力する大切さを学び、楽しい時間を過ごせたので良かったと思います。



# アスジャ事務局だより



## ◇◇アスジャ学生たちの2012年2月から3月までの様子◇◇

### ◆◆ 2月 ◆◆

研修合宿・アセアン料理懇親会のための買出し 研修合宿前日に各国代表者の学生達とアセアン料理懇親会のための材料の買出しに行きました。使う食材や調味料が多いため、手分けをし効率よくすることでスムーズに買出しをすることができました。

### ◆◆ 3月 ◆◆

フィル・ハーモニックアンサンブル 管弦楽団第53回演奏会 留学生を招待して頂きました。この日は東日本大震災から一年。様々な思いを抱きながら聞いていた人が多かったと思います。力強く、素晴らしい演奏に留学生、スタッフ一同は感激しました。

### <3月23日>

アスジャ理事会・アスジャ修了式およびアスジャ学生生活動報告会

## ◇◇今後のスケジュール◇◇

- <4月> 日本文化体験(相撲部屋稽古見学・江戸東京博物館)
- <5月> アスジャ国費留学生オリエンテーション・歓迎会
- <6月> ASEANTロピカル祭り(学生自主事業)

次号(23号)は2012年6月に刊行予定です。ASJAニュースレターに関するご意見、ご要望、など皆様からのお声を、ASJAニュースレター編集担当村上までメール(info@asja.gr.jp)にてお聞かせください。

## ◆◆ 退任のご挨拶 ◆◆

アスジャの学生の皆さんと共に経験した様々な活動を通して、実にごさんのことを学ぶことができました。狂言鑑賞、日本生活体験研修、国際理解講座、研修合宿など、活動中はもちろんのこと、事業終了後の皆さんのレポートを読んで新たな日本を知ることができました。また、日本について調べる機会が多々あり毎回勉強になりました。アスジャの皆さんと過ごした日々は私にとって掛け替えのないとても貴重な時間です。文化や言葉、習慣の異なる外国で学位を取得することは容易なことではありません。皆さんの頑張りにいつも励まされてきました。これからも皆さんのご活躍を応援しています。たくさんの優しさやサポートをどうもありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。(別所)

## ◆◆ 新任のご挨拶 ◆◆

初めまして。4月からアスジャで働いています、村上香織と申します。アスジャを通してASEANからの留学生と交流する機会があり、楽しくお仕事をさせていただいています。日本とASEANの国々の理解がもっと深まり、アジアの仲間として更に協力していけるよう留学生の皆さんと一緒に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します！

## ◇◇編集後記◇◇

編集を通して、学生達と一緒に多くを学ぶことができました。きらめき市民大学の方々のように、常に学ぶ姿勢を持ってほしいものです。